



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 574 回 「男らしさ」「女らしさ」への懷疑

2014.4.27

車の FM ラジオから、何気なく流れていた音楽を聴いて、不思議な思いに駆られた。正確には全く覚えていないが、たぶんジャニーズ系の男性ユニットの新作だったと思う。なんでこの曲をこの人たちが歌うのか？AKB でも SKD(?)でも何でもいいし、もっと言えば、男性が歌う意味があるのかな…例によって天邪鬼の虫がムクムクと頭をもたげてきた。昔の、特に流行曲は、サブちゃんが歌うから男っぽさが伝わり、女性の切ない愛を百恵ちゃんが教えてくれた。今の曲は誰が歌っても良いように作られている…摩訶不思議な流行曲。こんなことがきっかけに、とんでもないところに発想が展開する。たとえば……

中性的になった夫に嫌気がさし、離婚したいと言っているタレントがいるようだ。実にどうでもいい話だが、「男っぽさ」「女らしさ」が今、問われている。

社会的に形成された性差、性による差別を「ジェンダー」という。「男らしさ」と「女らしさ」を追求するために、ジェンダーによる悲劇が繰り返されてきたとする識者がたくさんいる。

男性はこうである、女性はこうすべきだ、そういう見方が固定化され、男女への思い込みが形成されてくる。これを「ジェンダー・ステレオタイプ」と言っている。

例えば、男性は活動的、冒険好き、支配的、強制的、独立した、強い、攻撃的など。それに対し女性は従順、感動しやすい、迷信を信じる、愛情表現豊かな、感受性がある、温かいなど。そういうのが一般的な男女への思い込みとして、社会的な固定概念になってしまっている。我国に限らず、全世界的兆候として人類の歴然たる史実となっている。

キリスト教の「アダムとイブ」の中では、元々「性」というものは存在しなかった。蛇に唆され、「善悪の知識の実」を食べてしまったが故に、「性」が誕生し、同時に異性であることの認知と羞恥心も生まれた。その結果、神は二人に体罰を与えた。エデンの園に実りは無くなり、男性は女性の為に汗水流して働き、女性は妊娠後の苦しみを耐えなければいけなくなった。「男性」であるが故に、如何に苦しくても心が滅んでも、頑張り続けている人々。「女性」であるが故に、自らの容貌を責めたり、子育てに対する不安を独り胸の中で抱える人々。「性」に囚われて苦しい思いを重ねている人々が居るのは事実のようだ。

ジェンダーとは本質が違うかもしれないが、イケケン流に、ここで一気に飛躍する。

社会的にも、経済的にも、いやそれ以前生理的、動物的にも男と女の役割は違うはず。我々人間に与えられた抜本的使命は、絶対的種の保存である。そのために遺伝子を変え「性」を変えた2種類の機能を持った人類が存在する。

安倍政権が充実化を目指す子育て支援や女性の社会進出促進化、草食系男子や中性化の問題、品格のかけらもない、「オネエ系」のテレビへの気色悪い露出を見るにつけ、頑固なまでにジェンダー・ステレオタイプを堅持する小生、依然として、全く腑に落ちない。男は男らしく、女は女らしく振る舞うことは、我家の家訓であり、自然の摂理だと思っている。

【参考】

SKD…SKD とは、劇団名であった「松竹歌劇団」(Shochiku Kageki Dan)の略称。

松竹歌劇団は、宝塚歌劇団、OSK 日本歌劇団と並ぶ日本の三大少女歌劇のひとつとして、かつて存在した劇団。東京を代表するレビューを主とした歌劇団であり、浅草・国際劇場を本拠地とし、「西の宝塚・東の松竹」とも呼ばれ戦前・戦後を通し一時代を築いた。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%BE%E7%AB%B9%E6%AD%8C%E5%8A%87%E5%9B%A3>

サツちゃん…北島三郎

百恵ちゃん…山口百恵

「**アダムとイブ**」…旧約聖書『創世記』に最初の人間と記される人物である。天地創造の終わりにヤハウェ(エホバ)によって創造されたとされる。

草食系男子…「草食系男子」の定義は個々人によって違う。その特徴的なことは、恋愛は基本的に欲が無く積極的ではない。または淡々としている。草食動物が狩りを行わず、草をひたすら食べているように、草食系男子もガツガツと異性を求めていない。とにかく女性的、あるいは中性的。家事・料理・節約など女性が行ってきた仕事を行える。争いを好まない、優しい性格。

オネエ系…ゲイ＝同性愛者、日本では男性同性愛者のことを言う場合が多い。オネエ＝言葉遣いやしぐさが女性的な男性。元来、新宿二丁目などゲイコミュニティやゲイ当事者の中では、女装をしないゲイの中で女性的なゲイ(オネエ言葉を使ったり、女性的な仕草のゲイ)のみをオネエとってきた歴史があり、オネエ言葉を使わない男性的なゲイや、女装するゲイはオネエとは呼ばない。